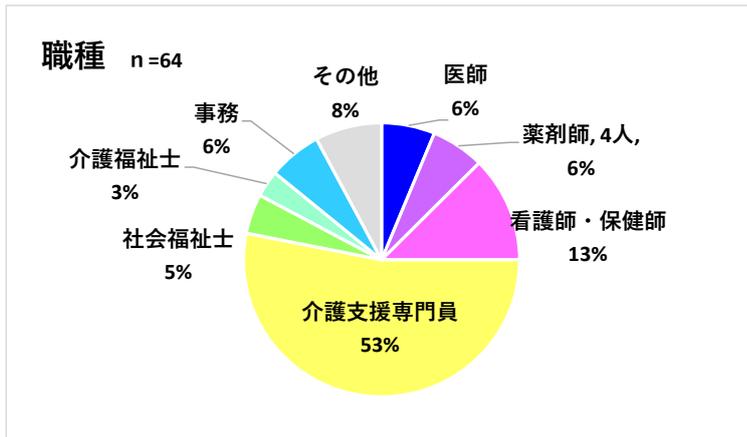


実施日時：令和5年1月24日（火） 14時～16時
 場所：枚方市医師会館 2階 大講堂
 参加人数：78人
 アンケート回収状況：64人（回収率：82.1%）

1. あなたの職種を教えてください。

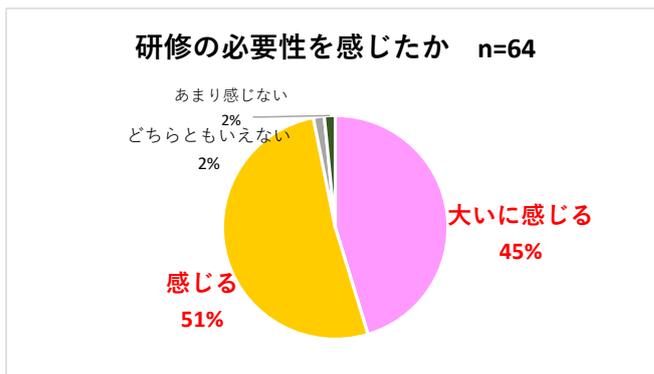
職種	人数	割合
医師	4	6.3%
薬剤師	4	6.3%
看護師・保健師	8	12.5%
介護支援専門員	34	53.1%
社会福祉士	3	4.7%
介護福祉士	2	3.1%
事務	4	6.3%
その他	5	7.8%
総計	64	100.0%



2. 今回の研修の内容は、必要性を感じるものでしたか。

必要性	人数	割合
大いに感じる	29	45.3%
感じる	33	51.6%
どちらともいえない	1	1.6%
あまり感じない	1	1.6%
総計	64	100%

96.9%

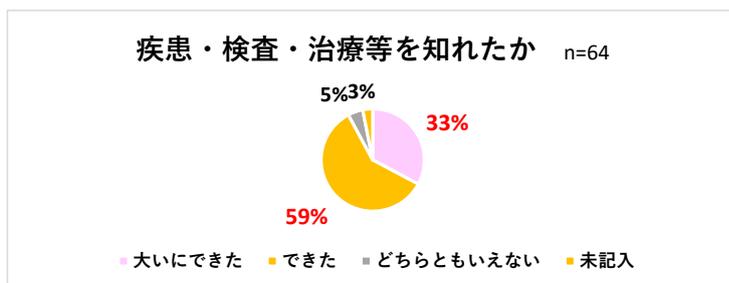


3. 認知症サポート医研修についてお尋ねします。

(1) 認知症の種類や初期症状、検査、診断、治療について知ることができましたか。

認知症について	人数	割合
大いにできた	21	32.8%
できた	38	59.4%
どちらともいえない	3	4.7%
未記入	2	3.1%
総計	64	100.0%

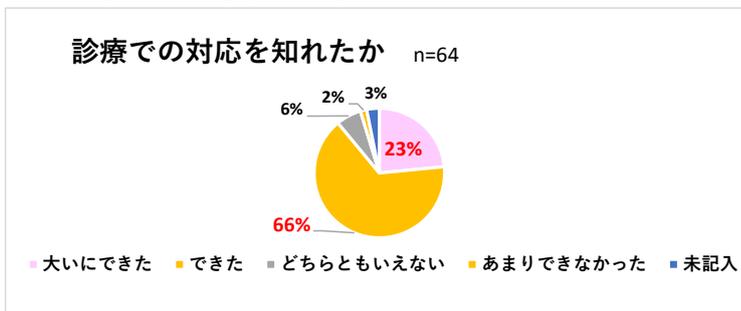
92.2%



(2) 認知症診療での対応（検査・専門医療機関紹介等）について知ることができましたか。

対応	人数	割合
大いにできた	15	23.4%
できた	42	65.6%
どちらともいえない	4	6.3%
あまりできなかった	1	1.6%
未記入	2	3.1%
総計	64	100.0%

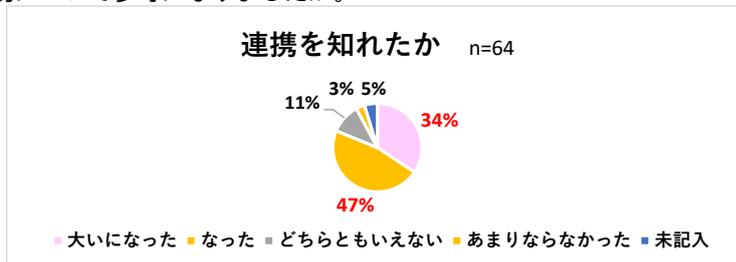
89.1%



(3) 認知症の方に関する医療機関・介護保険事業所との連携について参考になりましたか。

連携について	人数	割合
大いになった	22	34.4%
なった	30	46.9%
どちらともいえない	7	10.9%
あまりならなかった	2	3.1%
未記入	3	4.7%
総計	64	100.0%

81.3%



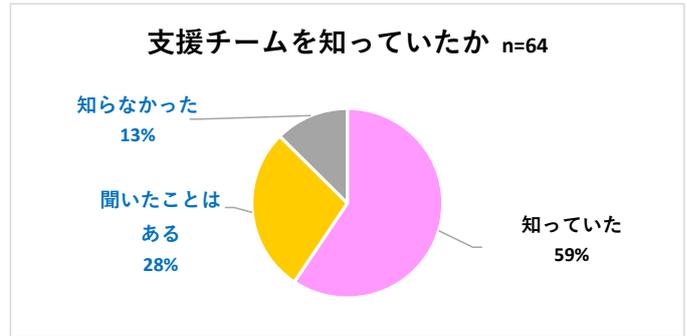
令和4年度 枚方市医師会協同研修 アンケート集計

4. 認知症初期集中支援チーム（以下、支援チームと記載）研修についてお尋ねします。

(1) あなたは、支援チームをご存じでしたか。

知っていたか	人数	割合
知っていた	38	59.4%
聞いたことはある	18	28.1%
知らなかった	8	12.5%
総計	64	100.0%

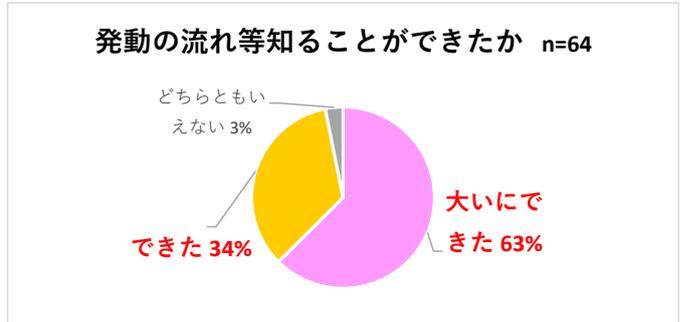
40.6%



(2) 今回の研修で、支援チームの発動の流れや支援の実際を知ることができましたか。

発動について	人数	割合
大いにできた	40	62.5%
できた	22	34.4%
どちらともいえない	2	3.1%
総計	64	100.0%

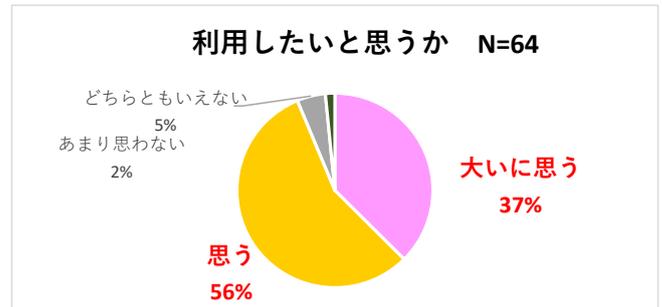
96.9%



(3) 今後、機会があれば支援チームを利用したいと思いませんか。

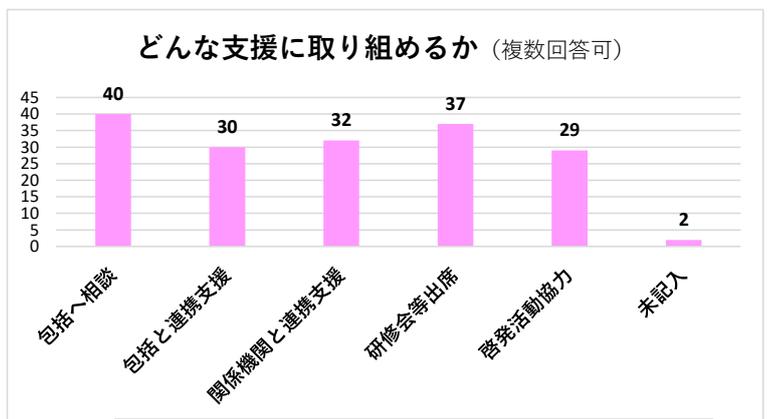
利用について	人数	割合
大いに思う	24	37.5%
思う	36	56.3%
どちらともいえない	3	4.7%
あまり思わない	1	1.6%
総計	64	100.0%

93.8%



5. 認知症の方やそのご家族を支えるチームの一員として、具体的にはどのような支援に取り組んでいただけますか（複数回答可）。

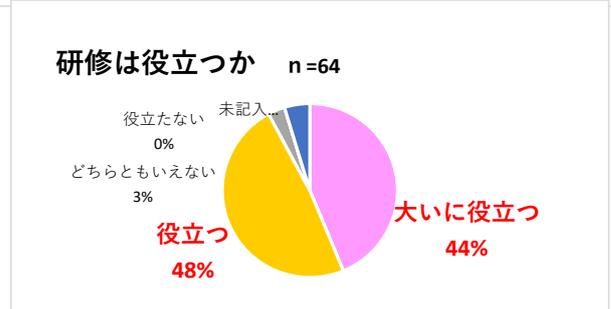
取組内容	人数	割合
包括へ相談	40	62.5%
包括と連携支援	30	46.9%
関係機関と連携支援	32	50.0%
研修会等出席	37	57.8%
啓発活動協力	29	45.3%
未記入	2	3.1%



6. 今回の研修は、あなたにとって役立つものでしたか。

役立つか	人数	割合
大いに役立つ	28	43.8%
役立つ	31	48.4%
どちらともいえない	2	3.1%
役立つ	0	0.0%
未記入	3	4.7%
総計	64	100.0%

92.2%



7. この研修を通じて印象に残ったこと、ご意見等があれば、なんでも結構ですのでご記入ください。

	全体	サポート医	初期集中
1	人員の予算に更なる支援が必要と感じます。		
2	ロールプレイ楽しく研修できました。		
3	片頭痛と認知症の関係性・放っておいてはいけない。サポート医がわからない。視聴覚機器の問題か、マイクを使っていらっしゃるが、言葉がはっきり聞こえにくかった（松尾先生の講演）。介護保険が制定されてから、要介護者の世話は専門職にまかせたらよいという風潮がある。親の介護は子どもがしなくてもよいと思っている人が増えてきたように思う（いずれは自分のことなのに）。この辺は問題がある。		
4	ロールプレイは何度も練習されたのか、とてもわかりやすく流れもスムーズで観ていて楽しかったです。今回は流れを知ることでしたが、スムーズにいかない事例などもロールプレイしていただけるとなお流れが把握できます。みなさま俳優さんみたいでした。		
5	座学だけではなくロールプレイによりイメージしてとらえることができました。		
6	ロールプレイでわかりやすく、チームの活動を知ることができ勉強になりました。今後も地域包括の方と連携して早期発見対応をしていきたいと思えます。		
7	ここまで細かく支援していただけたとは知りませんでした。昨年末1例、今年に入り1例地域包括に繋げさせていただきました。今後も啓発と自己研鑽に努めるようにします。		
8	ロールプレイで枚方市認知症初期集中支援チームの動きと流れがよく理解できました。		
9	かかりつけ医の先生方との連携はとても大切だと改めて実感しました。ロールプレイがわかりやすかったです。		
10	ロールプレイを通して、実際のかかわりの流れを理解することができました。今後支援の中で対象の方がいた場合、提案等ができればと思います。		
11	片頭痛は認知症のリスクがあることを知りました。知ることができて良かったです。		
12	包括職員としては、ロールプレイのようにスムーズな受診、チーム介入ができれば問題ないのですが、本人の拒否が激しい場合等うまくいかなかった事例の紹介もしてほしいかな。出演者の方々おつかれさまでした。		
13	上手にロールプレイを演じておられ、わかりやすかったです。受診拒否の強い高齢者やチーム活動に理解のないかかりつけ医など課題は多く、実際はもっと時間と労力を伴うのたろうと思っています。講演の松尾先生、ロールプレイ参加のみなさまありがとうございました。		
14	かかりつけ医の先生の意見は大きいと思えます。		
15	今まで初期集中というチームの存在は知っていましたが、利用したことがないので実感がわいていませんでした。ロールプレイを通じてわかりやすく理解でき、また対応困難な方への支援の一つとしてこのチームがあることが大変心強く思いました。わかりやすい研修でした。ありがとうございました。		
16	松尾先生の講義は、資料・データを見ながらの説明でわかりやすく参考になった。初期集中支援チームのの年度件数の実績はまだ少ないと感じた。認知症の相談はすでに包括がほとんどの場合積極的に解決してくれているので、初期集中支援チームにつなぐ必要がないのかもしれないとも思いました。包括支援センターでも解決できないケースをチームが対応されると良いのかも。		
17	ロールプレイで流れを再現してくださったことでより理解が深まりました。ありがとうございました。		
18	大変勉強になりました。ありがとうございました。チームのことは、ずっと以前から知っていました。しかし、件数は少なくここまでつながるのは大変だなと思いました。また地域包括支援センターの動きはわかりましたが、そこから居宅（在宅）のケアマネジャー、介護事業所とどうつながっていくのか、どのように連携をとっておけばよいのか、機会があれば具体的な連携方法を知りたいと思いました。どうもありがとうございました。		
19	ありがとうございました。有意義な研修だったと思いますが、田邊副会長からあったように開業医のみなさんの参加が少なかったことは残念です。かかりつけ医・サポート医の充実を含め総合的に枚方市民が認知症への不安を少しでも解決できるよう、また家族として認知症患者を支えていけるよう取り組んでいきたいと感じています。関係機関が力を合わせて取り組めるようご協力をお願いいたします。従事者のみなさまお疲れさまでした。		

20	ロールプレイでの説明はわかりやすく良かったです。どの役の人が話しているのかが、客席からは少しわかりづらかったのですが、そこがわかりやすくて良かったらもっと誰が見てもわかりやすくなるように思いました。ロールプレイYouTube配信とかいいと思います。今日のメンバーしか見ていないのはもったいないです。
----	---

7. この研修を通じて印象に残ったこと、ご意見等があれば、なんでも結構ですのでご記入ください。

21	認知症は高血圧や糖尿病、難聴などの原因から生じる場合があり、なるべく発症・進行させないような早期からの支援が必要であると思った。その為には地域全体が早期に症状に気づき、専門機関等へ連携していく必要がある。枚方市民であるが、このような支援チームの存在を知らなかった。
22	オレンジ初期チームの介入時、どんな声かけで入りますか。かかりつけ医の協力が得られにくい場合も相談できますか？藤本先生が仰っていたように認知症高齢者が急速に増えることについて、医師の協力・参加がもっと必要と感じます。
23	一言で認知症と言っても、他の病気がとても大きく関係してくることがわかり、大変勉強になりました。また、在宅での支援に携わるメンバーとして、できることをしっかり検討し、チームを組んで認知症の方々やその家族をサポートしていただけたらいいな、と感じました。大変有意義な時間をありがとうございました。ロールプレイとてもわかりやすく楽しく学べました。
24	認知症と他の疾患が合併しているときの支援の大切さがわかった。認知症の疑いがある方でも診断がついていないこともあるので、初期集中支援チームにつないでいく選択肢も考えていけたらと思う。
25	知らなかったことが知れました。
26	薬剤師として今回のチームに薬剤師役がでていないということが、あまり支援に参加できていないと感じることができました。薬局で話をするだけでなく、今後は支援チームに参加していけるよう連携をとっていきたいです。
27	初期集中支援チームによる必要支援の構築は、これからの社会認知症問題にとっては必要。日々、デイで認知症の方その家族に関わる身としては進行とともに増悪してしまう症状に対しても、専門医、かかりつけ医とチームとして支える必要性を痛感している。今後現場を医師会が意見交換できる、垣根の低い勉強会があれば嬉しく思います。今日の機会に感謝。ありがとうございました。
28	とてもわかりやすかったです。ちょうど独居の方で認知機能低下気味の患者様が薬局にいらっしやいまして、どうしようかなと思っていたところです。地域包括支援センターに連絡させていただこうかと思いました。
29	オレンジチームの発動件数や実際の流れについても知れたのが良かった。とてもわかりやすい劇だったので、枚方市のYouTubeにアップするとより多くの人に知ってもらえると思った。